



ユトリーナ蒲郡

を市の文化財に指定してはどうか。

答 県教育委員会の指導・助言を受けながら、市文化財審議会での審議に向けて準備を進めていく。まず、保存会に対する現況調査を今年度中に取り組み、次のステップにつなげたい。

ユトリーナ蒲郡の今後の管理について

問 ユトリーナ蒲郡は今まで市が管理してきた。しかし、来年度からは、指定管理者制度により指定管理者に管理を代行してもらう。契約内容はどのようなか。

答 申請者は現在4業者である。市が支払う指定管理料は3年間は同一業者で額も一定とし、過去3年間の実績を参考に申請者から申請してもらう。また、募集要項には、現在勤務している職員を極力採用するか地元住民の採用を優先することを要望として付け加えている。契約の詳細は別に協定書を結ぶ。

選定の流れは、選定委員会が申請者の中から候補者を選び、議会の議決を得て指定する。12月議会の上程を予定している。

松本昌成（公明党）

住宅リフォーム詐欺対策は

問 高齢者を標的とした悪質な住宅リフォーム詐欺が急増している。市の取り組み状況はどのようなか。

答 愛知県は蒲郡市を含む4市をモデル地区として消費者被害未然防止事業を行っている。

蒲郡市では、消費者協会の市民団体、老人クラブ、

民生委員、ボランティア団体、在宅介護支援センターのケアマネージャー、市職員など約50名を構成員に、7月に悪徳商法等の消費者問題に関する研修会を行った。その後、高齢者世帯などを中心にパンフレットを配布している。

公用車の集中管理と軽自動車化を

問 公用車を有効利用するため、各課単位の管理から集中管理にすべきであるか。

県事業は今年度だけであるが、来年度以降も構成員にお願いし継続したい。

市財政の今後について

小林武男（新政クラブ）

問 十分な税源移譲のないまま、三位一体改革が進められている。今後の市財政をどのように考えているのか。

答 補助金、使用料・手数料の見直しを考えている。職員の削減、事務事業の見直しを含め集中改革プラン、財政健全化計画を策定する。

市税の増収策として、産業立地等の支援、奨励策を慎重に検討している。国に対しては税源移譲など市長会を通じて強力に働きかけたい。

十能付近の渋滞緩和とラグーナ周辺の景観対策



問 豊岡大塚線の早期完成を願うが、トンネル築造も含めると、今後約40億円が必要と聞いている。工事が遅れるようであれば、代わりに既設の原山林道を拡幅し、少しでも渋滞緩和につなげてはどうか。

答 現在、原山林道の全面的改良は考えていない。大塚駅とラグーナ蒲郡を結ぶ路線の電線類地中化の考えはないか。

答 景観整備のため検討したが、市も億単位の負担が必要であるため、財政的にゆとりができれば考えたい。

集中管理を18年度に向け準備

